

## Song Review 11 #Stand by me

『#Stand by me』（作詞・作曲：ベン・E・キング、ジェリー・リーバー、マイク・ストローラー、1961年）を取り上げる。米国のBillboard Hot 100で4位、R&Bチャートでは1位を記録。映画『スタンド・バイ・ミー』の主題歌として再び注目を集め、再チャートイン。本曲はベン・E・キングが1961年に発表したソウル・バラードで、友情や愛、支え合いをテーマにした曲である。世界中で数百回以上カバーされており、ジョン・レノン、U2、フロー・ライダーなど多くのアーティストが取り上げている。

When the night has come  
And the land is dark  
And the moon is the only light we see  
No, I won' t be afraid  
Oh, I won' t be afraid  
Just as long as you stand  
stand by me  
So darlin' , darlin' , stand by me, oh stand by me  
Oh stand , stand by me  
stand by me

(夜が訪れ、あたりが闇に支配される時  
月明りしか見えなくたって  
恐れはしない、恐れはしないさ  
ただ君がそばに、そばにいてくれれば  
だから愛する人よ そばにいて 僕のそばに  
そばにいてくれ、僕のそばに)

Lady Gaga と Sting が 2010年5月13日にニューヨーク・カーネギーホール(環境保護を目的としたチャリティイベント)での『Stand By Me』をデュエットした録画がYouTubeで視聴できる。2011年9月24日にもラスベガスで再共演し、そこでも『Stand By Me』をデュエットしている。

これを機会に歌だけでなく、映画『スタンド・バイ・ミー』（ロブ・ライナー監督、1986年）をamazon prime videoで視聴した。本作はスティーヴン・キングの中編小説『The Body』を原作とし、少年たちのひと夏の冒険と友情を描いた作

品である。主題歌『Stand by Me』は、最初（演奏のみ）と最後に流れる。

作家 G はある日、「弁護士 C 刺殺される」という新聞記事に目をとめ、少年だった頃をふと思い起こす。

時は 1959 年。当時 12 歳だった彼は、オレゴン州の田舎町で暮らしていた。そこはお世辞にも風紀が良いとは言えない、何かしらの劣悪な家庭環境に置かれた貧しい人たちが住む町であった。

物語を作る才能を持つ G、ガキ大将の C、眼鏡をかけている T、ノロマで肥満児の B の 4 人は、性格も個性も異なっていたがウマが合い、いつも一緒に遊んでいた。木の上に組み立てた秘密小屋の中に集まっては、タバコを喫ったり、ランプをしたりと、少年期特有の仲間意識で結ばれていた。

ある日、B は不良グループの一味である兄たちの会話を盗み聞きしてしまう。3 日前から行方不明になっている R という少年が、30 キロ先の森の奥で列車に跳ねられ死体のまま野ざらしになっていることを知る。B が G たちに話すと、「死体を見つければ有名になる。英雄になれる」と言う動機から、死体探しの旅に 4 人で出かける。

途中、喧嘩もするが、助け合いながら、鉄道の線路に沿って冒険のような旅を続ける。一方、B や C の兄たちがメンバーになっている不良グループを率いる A が死体の話を聞きつけ、仲間を引き連れて死体のある場所へ車で向かい始める。

翌日、G ら 4 人は、ついに死体を発見する。そこに A たち不良グループが現れ、死体を渡せとせまるが G が A に銃口を突きつけ、不良グループは退散する。

遺体のことを匿名で警察に通報して、ひと夏の冒険が終わり、4 人はいつものように町外れで別れた。その後は進路もバラバラになり、お互い疎遠になっていく。C が亡くなった原因が、昔と変わらず正義感が強いがゆえ（喧嘩の仲裁）だったことに、「複雑な家庭環境のなかで仲間との友情を感じた 12 歳の頃のような友達は、二度とできることはない」と、静かに思い返す。

評価：★★★★☆